

# MYM 浄水器専用シングルレバー混合栓・施工説明書

0005 SS 487771 施工完了後は、必ずお客様にお渡しください。

**MYM 株式会社 喜多村合金製作所**

営業本部：〒501-3393 岐阜県加茂郡富加町高畑字福荷641 TEL0574-54-1136 FAX0574-55-0007  
 本社工場：〒501-2292 岐阜県山県郡美山町富永868 TEL0581-52-2111 FAX0581-51-0007  
 高加工場：〒501-3393 岐阜県加茂郡富加町高畑字福荷641 TEL0574-54-2121 FAX0574-55-0007

## 品番

仕様	MYM登録品番	日水協登録番号
一般地仕様	FB762(G)	給水器具 C-203
	FB763(GT)	給水器具 C-203

(お願い)上記品番は代表機種品番です。品番は仕様により異なる場合があります。

## 安全上のご注意 かならずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、この安全上のご注意をお読みのうえ、正しく施工してください。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように、大切に保管し、施工工事完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。

■表示内容を無視して誤った施工の仕方をしたときや施工時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

**注意** この表示は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

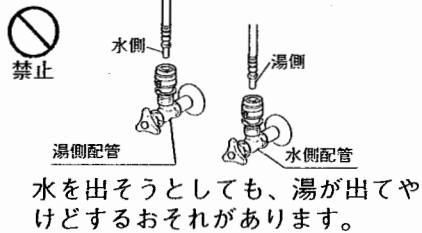
■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 注意

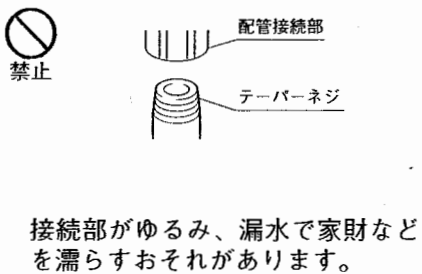
### ●湯・水を逆配管しない



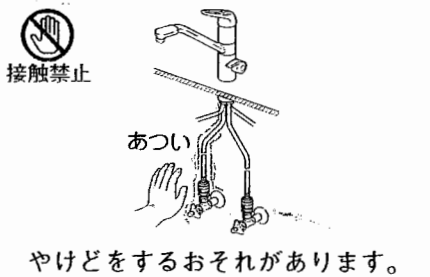
### ●止水栓は、固定された配管に接続する



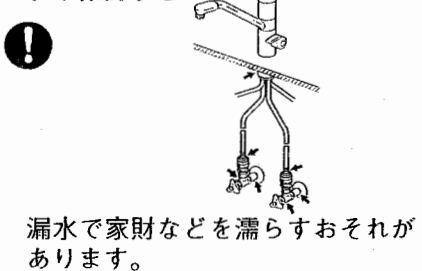
### ●配管接続部はテーパネジに接続しない



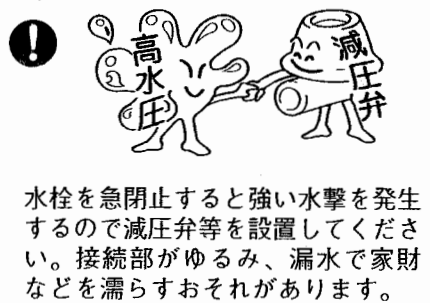
### ●湯側の配管には手を触れない



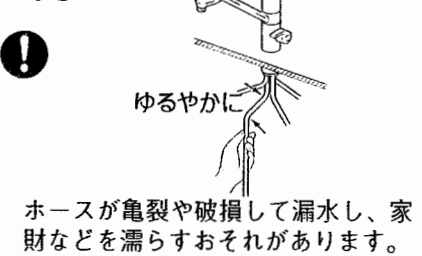
### ●施工完了後は、配管接続部の水漏れを確認する



### ●高水圧地区では、減圧弁等を設置する



### ●ホースはゆるやかに曲げて取り付ける

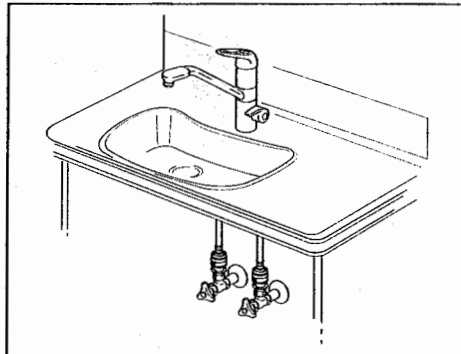


### ●給湯に蒸気を使用しない

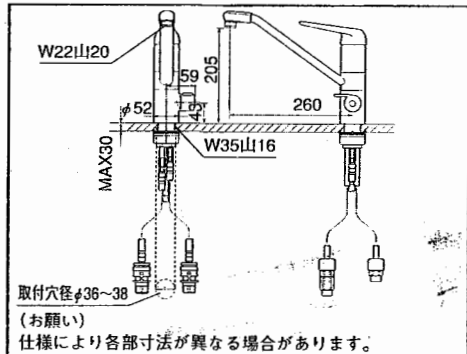


## 取付完成図・寸法図・展開図

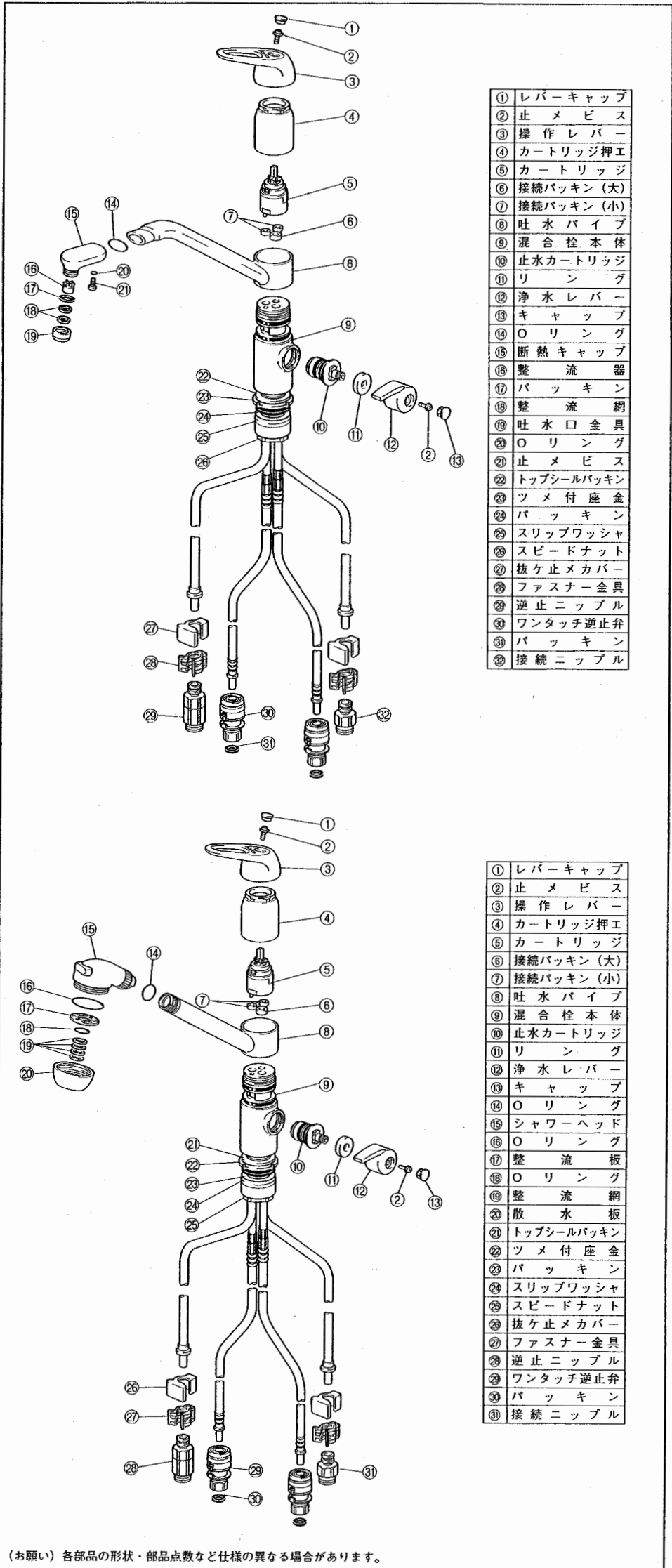
### 取付完成図



### 寸法図



### 展開図



①	レバーキャップ
②	止メビス
③	操作レバー
④	カートリッジ押工
⑤	カートリッジ
⑥	接続パッキン(大)
⑦	接続パッキン(小)
⑧	吐水パイプ
⑨	混合栓本体
⑩	止水カートリッジ
⑪	リング
⑫	浄水レバー
⑬	キャップ
⑭	Oリング
⑮	断熱キャップ
⑯	整流器
⑰	パッキン
⑱	整流網
⑲	吐水口金具
⑳	Oリング
㉑	止メビス
㉒	トップシールパッキン
㉓	ツメ付座金
㉔	パッキン
㉕	スリップワッシャ
㉖	スピードナット
㉗	抜け止めカバー
㉘	ファスナー金具
㉙	逆止ニップル
㉚	ワンタッチ逆止弁
㉛	パッキン
㉜	接続ニップル

①	レバーキャップ
②	止メビス
③	操作レバー
④	カートリッジ押工
⑤	カートリッジ
⑥	接続パッキン(大)
⑦	接続パッキン(小)
⑧	吐水パイプ
⑨	混合栓本体
⑩	止水カートリッジ
⑪	リング
⑫	浄水レバー
⑬	キャップ
⑭	Oリング
⑮	シャワーヘッド
⑯	Oリング
⑰	整流板
⑱	Oリング
⑲	整流網
⑳	散水板
㉑	トップシールパッキン
㉒	ツメ付座金
㉓	パッキン
㉔	スリップワッシャ
㉕	スピードナット
㉖	抜け止めカバー
㉗	ファスナー金具
㉘	逆止ニップル
㉙	ワンタッチ逆止弁
㉚	パッキン
㉛	接続ニップル

(お願い) 各部品の形状・部品点数など仕様の異なる場合があります。

# 設置条件

## 1 使用水圧

ボイラー・電気温水器と組み合わせる場合

給水圧力	最高水圧	0.75MPa
	最低必要水圧	0.05MPa

ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合

給水圧力	最高水圧	0.75MPa
	最低必要水圧	下記参照

湯沸器の号数	最低必要水圧
8号	A+0.06 MPa
10号	A+0.08 MPa
12号	A+0.10 MPa

(A: 湯沸器の最低作動圧と配管損失を合わせた数値)

以上は、下記条件を想定して設定されています。

- ※ 水温・・・25℃
- ※ 吐水温度・・・42℃
- ※ 湯沸器の温度調節・・・「高温」
- ※ 操作レバー・・・「全開」

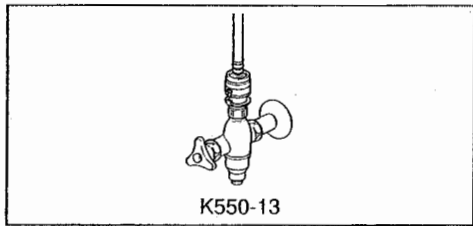
(注) 給水圧力が上記条件を越えると温度調節に支障をきたしたり、異常音が発生する事があります

2 給湯には絶対に蒸気は使用しないでください。

3 浄水器は元止メ式浄水器を使用してください。先止メ式浄水器は使用できません。

4 浄水器は耐圧性能0.35MPa対応のものを必ず使用してください。

給水圧力が非常に高い場合 [0.49MPa以上] は、オートアングル (品番 K550-13) 等の、減圧弁をご使用ください。



### 注意

高水圧地区 (水栓使用圧力以上) では水栓を急閉すると強い水撃を発生するので、減圧弁等を設置してください。

接続部がゆるみ、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。

# 取付手順

## 1. 止水栓の取付

### 注意

止水栓は固定された配管に接続してください。

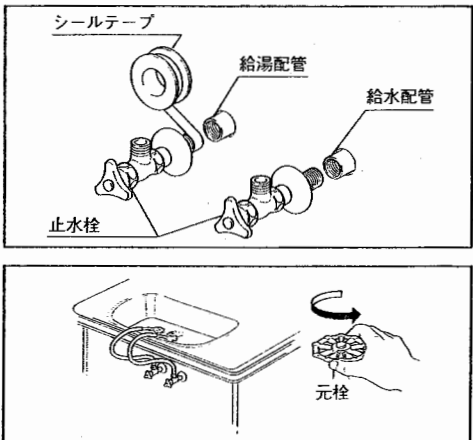
接続部がゆるみ、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。

(1) 別売の止水栓にシールテープを巻き、給水・給湯配管に接続してください。

(注) 止水栓を取り付けないと、適温を得るための湯・水のバランス調節ができなかつたり後々の商品の取り替えができまませんので必ず取り付けてください。

(2) 止水栓にホース等を接続した後、元栓を開いて配管内のゴミ、切りクズ等を洗い流してください。

(注) 配管内の異物が本体に入り込むと、止水不良等の原因となりますので、必ずおこなってください。



## 2. ワンタッチ逆止弁の取付

付属のワンタッチ逆止弁を止水栓に接続してください。

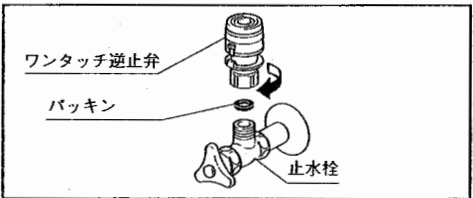
(お願い) ワンタッチ逆止弁は、手でいっぱい締め付けた後、モンキーレンチで締め付けてください。

[適正トルク: 14.7N・m]

### 注意

水栓の配管接続部はテーパネジに接続しないでください。

接続部がゆるみ、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。



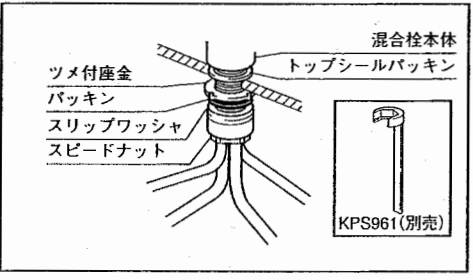
## 3. 混合栓本体の取付

(1) ネジ部からスピード(取付)ナット類を取りはずし(トップシールパッキンははずさない)、カウンターの穴に本体を差し込んでください。

(お願い) 取り付け時に本体下部のMYMマークが正面を向くように取り付けてください。

(2) パッキン類を右図の順にネジ部に差し込み、スピードナットを奥まで押し込んでください。

(3) スピード(取付)ナットの締め付けは、別売の専用工具(KPS961)にて確実に固定してください。



## 4. 給水・給湯パイプの接続

### 注意

給水・給湯パイプは、なるべくゆるやかに曲げてください。急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損の原因で漏水し、家財などを濡らすおそれがあります。

(1) 給水・給湯パイプを右図のように、止水栓の取出し芯に合うようにゆるやかに曲げます。

●パイプはR60以上の大きな曲げ半径で曲げる。

●パイプの根元に力がかからないように曲げる。

(2) パイプ先端のキャップをはずし、ワンタッチ逆止弁にカチッと音がするまで差し込んでください。

### 注意

湯・水を逆配管しないでください。

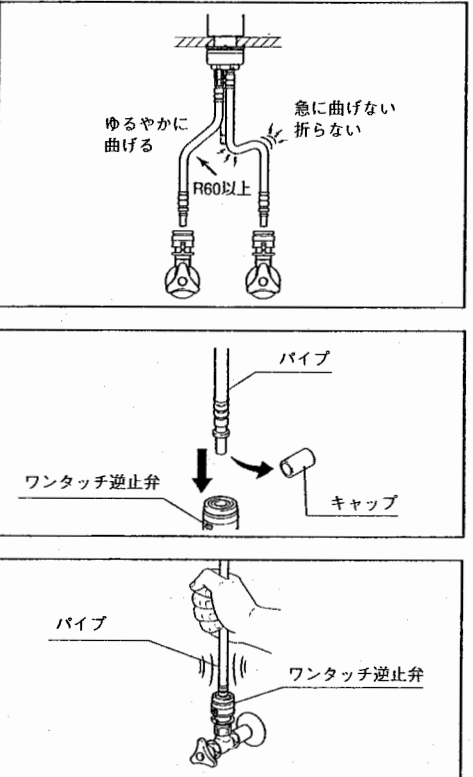
水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。

(3) パイプを引き上げ、ワンタッチ逆止弁からパイプがはずれないことを確認してください。

### 注意

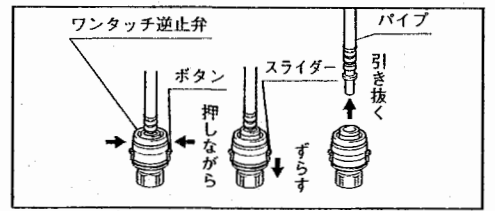
パイプの接続が確実にされているか確認してください。

確実に接続されていないとパイプがはずれて漏水し、家財などを濡らすおそれがあります。



# 給水・給湯パイプのはずし方

ワンタッチ逆止弁のボタンを両側から押しながら、スライダを下にずらして、パイプを引き抜いてください。



# 浄水器用水栓の接続

(1) 浄水器の入口側フレキ管に接続ニップルにパッキンをはさんで接続してください。

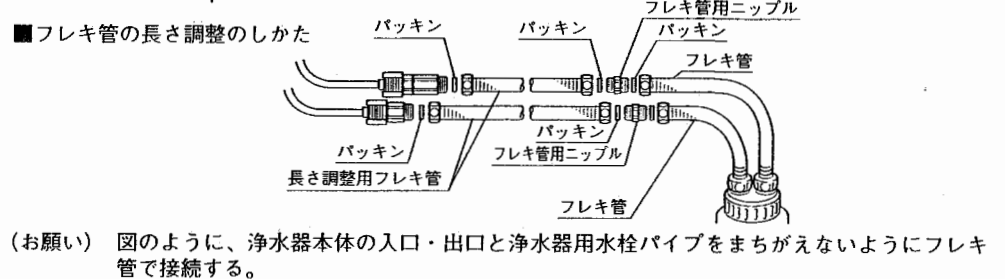
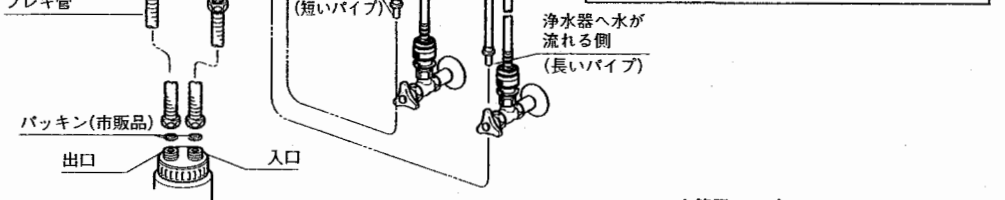
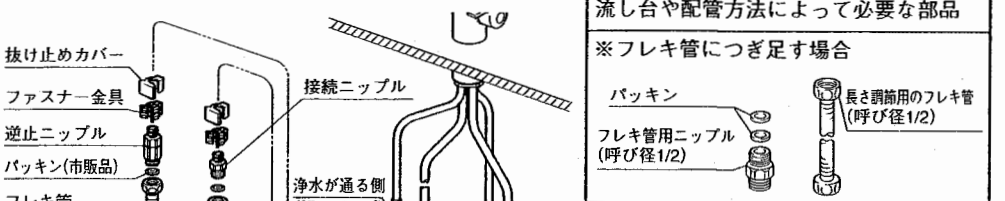
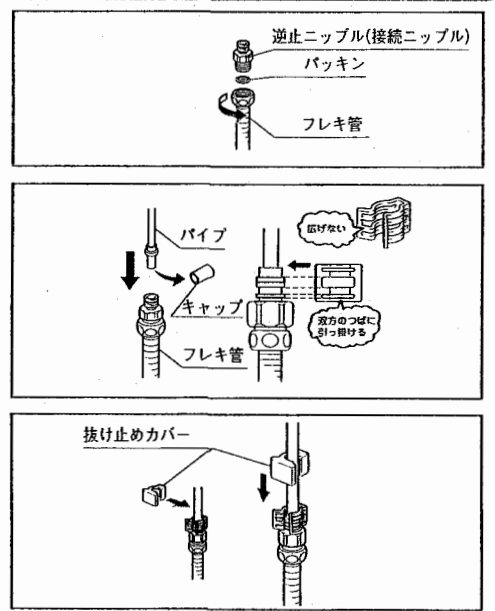
(2) 浄水器の出口側フレキ管に逆止ニップル(接続ニップル)にパッキンをはさんで接続してください。

(3) 浄水器側に流れるパイプに接続ニップルを浄水が本体側に流れるパイプに逆止ニップル(接続ニップル)をはめ込み、ファスナー金具を双方のツバに引っかけるようにして差し込んで固定してください。

### 注意

接続後は接続ニップル(逆止ニップル)を持って下向きに引っ張り、確実に接続されているか確認してください。漏水で家財などを濡らすおそれがあります。

(4) ファスナー金具が抜けないように抜け止めカバーをかぶせてください。



# 配管接続後の確認

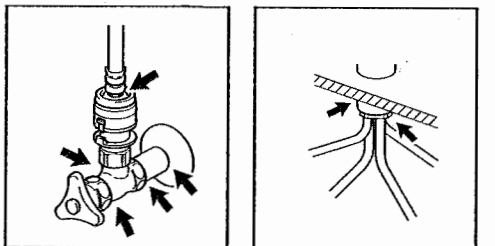
取付完了後、必ず下記の項目を点検・調整してください。

## 1. 接続部の水漏れ

各接続部の水漏れの有無を確認してください。

### 注意

施工完了後は、水栓の出し止めを数回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。漏水で家財などを濡らすおそれがあります。

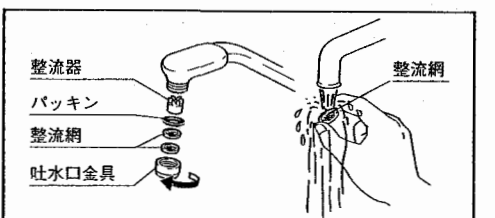


## 2. 吐水口金具の掃除

吐水口金具をはずし、整流網をよく水洗いして砂・ゴミなどを完全に除去してください。

(お願い) 吐水口金具・散水板など仕様により部品名、部品形状などが異なる場合があります。

また、詳しい掃除のしかたは取扱説明書を参照してください。



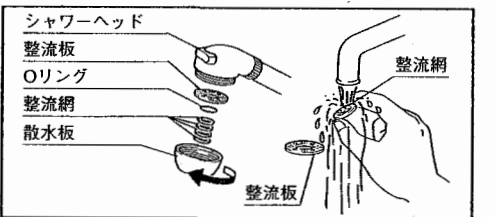
## 3. 水量・湯温の調節

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

※湯・水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

### 注意

キャビネット内の湯側の配管は高温になっていますので、直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。



## 4. 取扱説明書(保証書付)の引き渡し

大切に保管し、お客様に必ずお渡しください。

